

令和元年6月21日	資料5
第45回レセプト情報等の 提供に関する有識者会議	

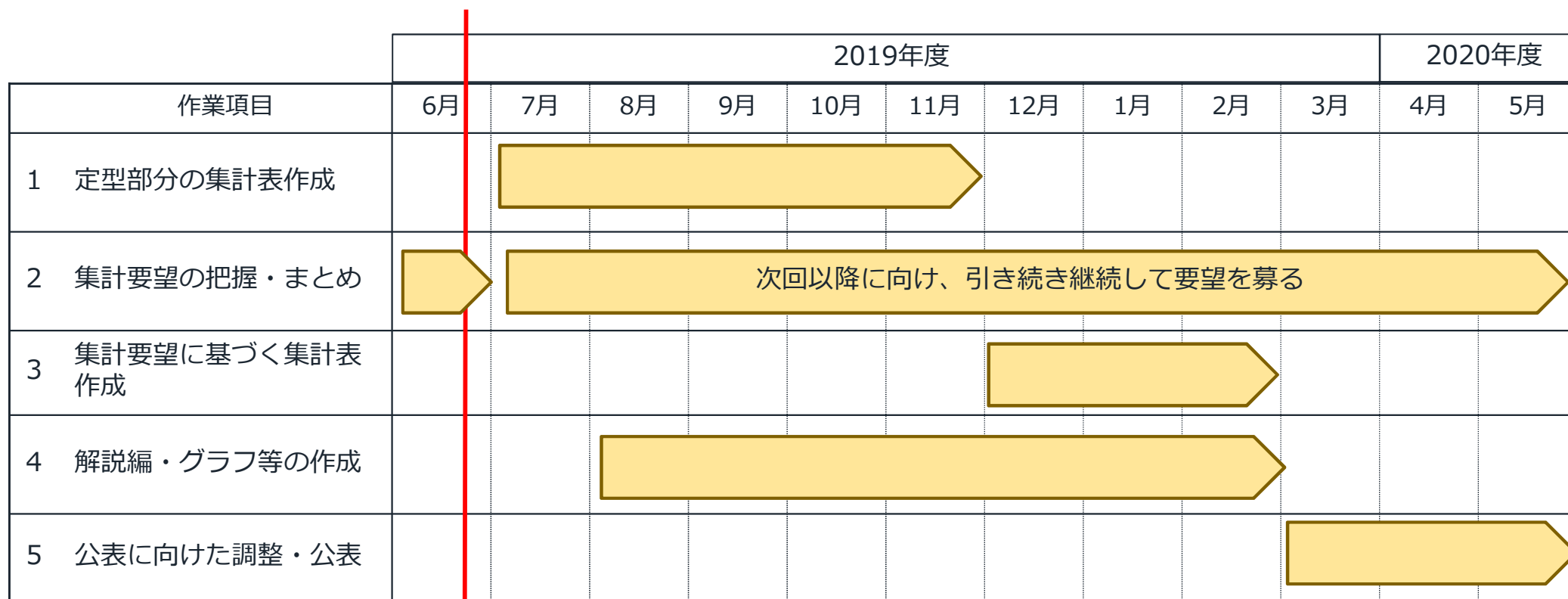
第5回NDBオープンデータの作成について

令和元年6月21日
厚生労働省保険局医療介護連携政策課
保険データ企画室

第5回NDBオープンデータの作成の考え方とスケジュール

作成の考え方

- 2018年度のレセプト情報、2017年度の特特定健診等情報を集計対象とする。
- 第4回NDBオープンデータと同一の項目は、定型的に集計表を作成する。
- 2019年6月末まで集計要望を受け付け、それを踏まえた上で集計表を作成する。



第5回NDBオープンデータに寄せられた要望と対応方針案

	集計対象	要望内容	第5回NDBオープンデータでの対応方針案
1	医科診療行為	年度単位の集計に加えて、1ヶ月毎の集計を収載してほしい	作業負荷が高く、第5回NDBオープンデータでは対応が難しい。引き続き検討を継続したい。
2	全体	最小集計単位の見直しを検討してほしい。 ・基準未満の値が一つの場合 ・値が小さい場合と「0」の場合が区別可能な表示方法への変更	第28回有識者会議にて、基準未満の値が一つの場合、総計はそのまま全項目を空欄とし、「0」もマスクすることとなっていた。今回同内容の要望があったため、ガイドラインを遵守しつつ公開する情報量の増加という観点から再検討してはどうか。
3	全体	二次医療圏毎の集計を収載してほしい	第4回オープンデータから試行的に集計。引き続き検討を継続。
4	全体	レセプト病名の集計を収載してほしい	レセプト病名の妥当性については「疑い」病名の取扱いなど相応の検証が必要と考えられることから、平成30年度厚生労働科学研究「ナショナルデータベース（NDB）データ分析における病名決定ロジック作成のための研究」の検討結果も踏まえて、今後の対応を検討してはどうか。
5	薬剤	医科処方・歯科処方の分離	データ継続性の観点から、第5回NDBオープンデータでは例年と同様の集計を行うこととし、更に医科と歯科で処方薬の分離について検討してはどうか。